

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-78649

(P2002-78649A)

(43) 公開日 平成14年3月19日 (2002.3.19)

(51) Int.Cl.⁷
A 47 L 9/00
F 04 D 29/00
29/44
29/58
H 02 K 5/02

識別記号

F I
A 47 L 9/00
F 04 D 29/00
29/44
29/58
H 02 K 5/02

コード(参考)
H 3 B 0 0 6
B 3 H 0 2 2
W 3 H 0 3 4
P 3 H 0 3 5
5 H 6 0 5

審査請求 未請求 請求項の数10 OL (全10頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号

特願2000-269814(P2000-269814)

(22) 出願日

平成12年9月6日 (2000.9.6)

(71) 出願人

000005821
松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者

徳田 剛
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者

山口 誠二
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74) 代理人

100097445
弁理士 岩橋 文雄 (外2名)

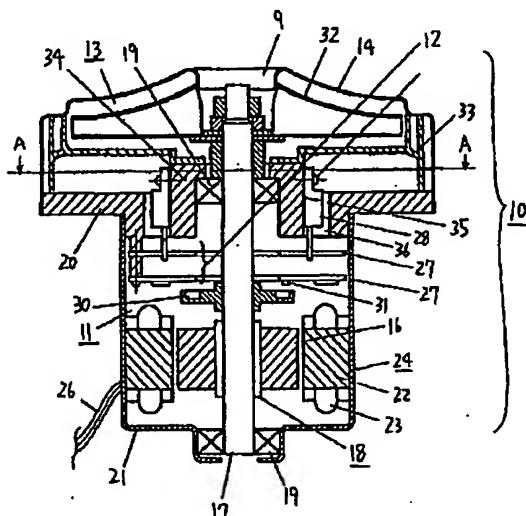
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 電動送風機及びそれを用いた電気掃除機

(57) 【要約】

【課題】 モータ部を制御する回路部の発熱素子を効率よく、かつ省スペースで冷却することを可能にし、電気掃除機の小型、軽量化を図り、使用性の高い電気掃除機を提供する。

【解決手段】 モータ部11と、前記モータ部11の電力制御を行なうインバータの駆動回路部12と、モータ部11により回転するインペラ32を備え、前記ブラケットのインペラ32側に形成したモータ11の軸方向に略平行なる面35に、前記インバータの駆動回路部12の回路基板27に実装された発熱素子28を固定したものであり、回路部12の発熱素子28を効率よく冷却し、かつ回路部12を省スペースで構成できる。



10	電動送風機	17	シャフト	24	ステーター
11	モータ部	18	ローター	27	回路基板
12	回路部	19	軸受	34	ハウジング部
13	ファン部	20	負荷側ブラケット	35	端平面部
16	永久磁石	21	反負荷側ブラケット	36	通孔

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 モータ部と、前記モータ部の電力制御を行なうインバータ回路部と、モータ部の筐体を構成するブラケットと、前記モータ部により回転するインペラを備え、前記インバータ回路部を前記インペラの外周から排出される空気の流路に配設するとともに、前記ブラケットのインペラ側に形成したモータの軸方向に略平行なる面に、前記インバータ回路部の回路基板に実装された発熱素子を固定した電動送風機。

【請求項 2】 インバータ回路部の回路基板に実装された発熱素子と対向するブラケットのインペラ側に発熱素子と相似状なる連通孔を設けた請求項 1 記載の電動送風機。

【請求項 3】 連通孔と発熱素子が形成する隙間が 5 m 以上の距離を保つ請求項 2 記載の電動送風機。

【請求項 4】 ブラケットのインペラ側を金属で形成した請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の電動送風機。

【請求項 5】 ブラケットのインペラ側を銅、またはアルミで形成した請求項 4 記載の電動送風機。

【請求項 6】 ブラケットのインペラ側をマグネシウム合金で形成した請求項 4 記載の電動送風機。

【請求項 7】 ブラケットのインペラ側に複数の凹凸を設けた請求項 1～6 のいずれか 1 項に記載の電動送風機。

【請求項 8】 モータ部の筐体を負荷側ブラケットと反負荷側ブラケットで構成し、前記反負荷側ブラケットに複数の凹凸を設けた請求項 1～7 のいずれか 1 項に記載の電動送風機。

【請求項 9】 塵埃を捕集する集塵室と、請求項 1～8 のいずれか 1 項に記載の電動送風機とを備えた電気掃除機。

【請求項 10】 電動送風機を直流電源で駆動する請求項 9 記載の電気掃除機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、主に電気掃除機に使用される電動送風機に関するものであり、特に、電気掃除機本体の小型化を実現し、使用性の向上を図るものである。

【0002】

【従来の技術】 近年、電気掃除機は、電動送風機にインバータモータを採用したものが市場に導入されている。

【0003】 従来のインバータモータを搭載した電気掃除機を、図 1-1、図 1-2 を用いて説明する。図 1-1 に示すように、電気掃除機 1 は、掃除機本体 2 に、ホース 3 が着脱自在に接続され、ホース 3 の他端には操作部 4 を形成する先端パイプ 5 が備えられている。先端パイプ 5 には延長管 6 と、その延長管 6 には吸込具 7 が接続された構成になっている。本体 2 には、ホース 3 に連通し

て集塵室 8 が形成され、集塵室 8 後方には吸気口 9 を集塵室 8 側に面するよう配されたインバーター制御で駆動する電動送風機 10 が備えられている。

【0004】 次に、電動送風機 10 について、図 1-2 を用いて説明する。

【0005】 図 1-2 に示すように、電動送風機 10 は、モータ部 11 と、インバーター制御を行う回路部 12 と、ファン部 13 によって構成され、電動送風機 10 は、ケーシング 14 の外周部に配されたサポートゴム 15 を介して本体 2 内に内蔵されている。

【0006】 モータ部 11 は、所望極数に着磁された永久磁石 16 をシャフト 17 に固定して構成されたローター 18 が、軸受け 19 を介して負荷側ブラケット 20 と反負荷側ブラケット 21 に保持されている。また、前記モータ部 11 内には、前記永久磁石 16 に相対するよう複数のスロットを設けたコア 22 に所望相数の巻線 23 が施されたステーター 24 が内蔵されている。

【0007】 モータ部 11 をインバーター制御して駆動させる回路部 12 は、電源供給部に接続される電源線 25 や、モータ部 11 への電力供給、回転数制御信号などを伝達する信号線 26 などが接続された回路基板 27 に実装され、電動送風機 10 の近傍に配置されている。回路部 12 のスイッチング素子 28 などの発熱素子は、冷却用の巨大な放熱フィン 29 に取り付けられて電動送風機 10 の吸気口 9 近傍の通風路上に配されていた。

【0008】 また、インバーター制御に必要なローター 18 の位置を検出する位置検出手段は、ローター 18 に設けられたセンサーマグネット 30 と、このセンサーマグネット 30 の磁極を検知するホール素子などの位置検出素子 31 によって構成されている。

【0009】 ファン部 13 は、モータ部 11 のシャフト 17 に備えられたインペラ 32 と、インペラ 32 の外周部に配され、インペラ 32 から流出する気流を徐々に圧力回復しながらモータ部 11 内部へ導く通風路を形成するエアガイド 33 と、これらを覆うケーシング 14 が備えられ、モータ部 11 の負荷側ブラケット 20 に一体的に取り付けられている。

【0010】 電気掃除機 1 を運転すると、回路部 12 によるインバーター制御でモータ部 11 が駆動してローター 18 が高速で回転する。従ってローター 18 のシャフト 17 に固定されたインペラ 32 も高速で回転するので吸引力が発生し、塵埃などを含む汚れた空気は、吸込具 7 から吸引され、延長管 6、ホース 3 を介して、本体 2 の集塵室 8 にて塵埃などを捕獲した後、電動送風機 10 内へと導かれる。また、電動送風機 10 の吸気口 9 近傍の通風路上に配された放熱フィン 29 は、電動送風機 10 へ流入する空気流にさらされるので、回路部 12 の発熱素子であるスイッチング素子 28 を効率良く冷却できるものである。

【0011】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら上記の従来の電気掃除機1は、電動送風機10の回路部12のスイッチング素子28などの発熱素子を放熱フィン29で効率よく冷却するために、前記放熱フィン29を電動送風機10の吸気口9近傍の通風路上に配していたが、エアータイト性を確保したり、回路部21の配置位置が制限されたり、組立性が非常に困難であった。また、回路部12は発熱素子が多く、放熱フィンを大きくするなど本体の小型化を困難にする原因となっていた。

【0012】本発明は、以上のような従来の課題を解決しようとするものであって、モータ部11を制御する回路部21の発熱素子を効率よく、かつ省スペースで冷却することを可能にし、電気掃除機1の小型、軽量化を図り、使用性の高い電気掃除機1を提供することを目的としている。

【0013】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明は、モータ部と、前記モータ部の電力制御を行なうインバータ回路部と、モータ部の筐体を構成するブラケットと、前記モータ部により回転するインペラを備え、前記インバータ回路部を前記インペラの外周から排出される空気の流路に配設するとともに、前記ブラケットのインペラ側に形成したモータの軸方向に略平行なる面に、前記インバータ回路部の回路基板に実装された発熱素子を固定したものであり、回路部の発熱素子を効率よく冷却し、かつ回路部を省スペースで構成できるので、電気掃除機の小型、軽量化が図れ、使用性の高い電気掃除機を提供することができる。

【0014】

【発明の実施の形態】本発明の請求項1記載の発明は、モータ部と、前記モータ部の電力制御を行なうインバータ回路部と、モータ部の筐体を構成するブラケットと、前記モータ部により回転するインペラを備え、前記インバータ回路部を前記インペラの外周から排出される空気の流路に配設するとともに、前記ブラケットのインペラ側に形成したモータの軸方向に略平行なる面に、前記インバータ回路部の回路基板に実装された発熱素子を固定したものであり、回路部の発熱素子を効率よく冷却し、かつ回路部を小型化することができるので、電動送風機と回路部を省スペースで構成でき、小型の電動送風機を提供することができるものである。

【0015】本発明の請求項2記載の発明は、上記請求項1記載の発明において、インバータ回路部の回路基板に実装された発熱素子と対向するブラケットのインペラ側に発熱素子と相似状なる連通孔を設けたもので、インペラで発生させた気流を効率よく発熱素子に当てるるので、冷却効果を向上させた小型の電動送風機を提供することができる。

【0016】本発明の請求項3記載の発明は、上記請求項2記載の発明において、連通孔と発熱素子が形成する

隙間が5mm以上の距離を保つもので、ブラケットのインペラ側との絶縁距離と、冷却風の通路を確保したもので、信頼性の高い小型の電動送風機を提供することができる。

【0017】本発明の請求項4記載の発明は、上記請求項1～3のいずれか1項に記載の発明において、ブラケットのインペラ側を金属で形成したもので、ブラケットのインペラ側を放熱フィンとすることにより、発熱素子の冷却効果を向上できる。

【0018】本発明の請求項5記載の発明は、上記請求項4記載の発明において、ブラケットのインペラ側を銅、またはアルミで形成したもので、更に発熱素子の冷却効果を向上できるものである。

【0019】本発明の請求項6記載の発明は、上記請求項4記載の発明において、ブラケットのインペラ側をマグネシウム合金で形成したもので、発熱素子の冷却効果を向上できると共に、ブラケットのインペラ側の軽量化が図れ、小型で軽量な電動送風機を提供することができる。

【0020】本発明の請求項7記載の発明は、上記請求項1～6のいずれか1項に記載の発明において、ブラケットのインペラ側に複数の凹凸を設けたもので、ブラケットのインペラ側の表面積を大きくすることにより、発熱素子の冷却効果を更に向上できる。

【0021】本発明の請求項8記載の発明は、請求項1～7のいずれか1項に記載の発明において、モータ部の筐体を負荷側ブラケットと反負荷側ブラケットで構成し、前記反負荷側ブラケットに複数の凹凸を設けたもので、反負荷側ブラケットの表面積を大きくすることにより、発熱素子の冷却効果を更に向上できる。

【0022】本発明の請求項9記載の発明は、塵埃を捕集する集塵室と、請求項1～8のいずれか1項に記載の電動送風機とを備えた電気掃除機で、小型で使用性が向上した交流式の電気掃除機を提供することができる。

【0023】本発明の請求項10記載の発明は、上記請求項9記載の発明において、電動送風機を直流電源で駆動する電気掃除機で、小型でコードレスの更に使用性が向上した電気掃除機を提供することができる。

【0024】

【実施例】（実施例1）以下に本発明の第1の実施例を図1、図2を用いて説明する。なお、従来例と同一構成部分については、同一符号を付してその説明を省略する。

【0025】図1に示すように、電動送風機10は、回路部12が内蔵されたモータ部11と、ファン部13によって構成されている。

【0026】前記モータ部11は、インペラ32側の負荷側ブラケット20と、反負荷側ブラケット21により筐体を構成しており、その内部には所望極数に着磁された永久磁石16と、軸受け19で軸支されるシャフト1

7に固定して成るローター18と、前記永久磁石16に相対するように複数のスロットを設けたコア22に所望相数の巻線23が施されたステーター24が内蔵されている。

【0027】次に、モータ部11内に内蔵したインバーターの駆動回路部12は、複数の発熱素子を実装した回路基板27で成っており、その外形は反負荷側ブラケット21の内周に沿った円形で、中心部にはシャフト17を貫くドーナツ状の孔が設けられている。また、ローター18のシャフト17に固定されたセンサーマグネット30の磁極を検知するホール素子などの位置検出素子31も前記回路基板27上に実装されている。

【0028】ファン部13は、モータ部11のシャフト17に備えられたインペラ32と、インペラ32の外周部に配され、インペラ32から流出する気流を徐々に圧力回復しながらモータ部11内部へ導く通風路を形成するエアガイド33と、これらを覆うケーシング14が備えられ、モータ部11の負荷側ブラケット20に一体的に取り付けられている。

【0029】次に、負荷側ブラケット20の軸受け19を保持するハウジング部34には、モータ部11の軸方向に略平行なる略平面部35を形成していると共に、ファン部13とモータ部11を連通する連通孔36を設けており、前記回路基板27上に実装されたスイッチング素子28などの発熱素子が、前記連通孔36内を貫通して前記ハウジング部34の略平面部35に固定されている。また、26はモータ部11に電力を供給したり、ローター18の回転数制御信号などを伝達する信号線である。

【0030】上記構成による作用は以下の通りである。

【0031】まず、モータ部11に電力が供給されると、ステーター24で発生した磁界と、ローター18に固定した永久磁石の磁界との反発、吸引力でローター18が回転し始める。

【0032】次に、センサーマグネット30と、ホール素子などの位置検出素子31でローター18の位置を検出しながら、回路部12でステーター24の巻線23に流れる電流の向きを切り換えて発生する磁界の向きを切替えることにより、磁力の反発、吸引力を利用してローター18を継続して回転し続けさせるものである。

【0033】そして、上記のように電動送風機10のローター18が高速で回転すると、ローター18のシャフト17に固定されたインペラ32が高速で回転して吸引力を発生させる。吸引された気流はケーシング14の吸気口9からインペラ32内に流入し、その外周より排出される。その後気流はエアガイド33内の通路を通って減速、圧力回復されながら負荷側ブラケット20に設けた連通孔36からモータ部11内へと導かれる。

【0034】このとき、ファン部28から排出された気流は、回路基板27上に実装され、負荷側ブラケット2

0のハウジング部34に固定されたスイッチング素子28などの発熱素子を通過するので、大風量の外気の冷たい空気で冷却することができ、非常に効率よく発熱素子を冷却することができると共に省スペース化が図れ、小型でコンパクトな電動送風機10を実現できるものである。

【0035】(実施例2)以下に本発明の第2の実施例を、図3を用いて説明する。なお上記第1の実施例と同一構成部分については、同一符号を付してその説明を省略する。

【0036】図3に示すように、電動送風機10のモータ部11を構成する負荷側ブラケット20に形成した連通孔36を、スイッチング素子28などの発熱素子の形状と相似形状にしたものである。

【0037】上記構成による作用は以下の通りである。

【0038】負荷側ブラケット20に設けた連通孔36は、スイッチング素子28などの発熱素子の外形に沿った形状をしているので、インペラ32が回転して発生した気流を効率よく発熱素子に当てて冷却効果を向上させることができる。

【0039】(実施例3)以下に本発明の第3の実施例を、図4、図5を用いて説明する。なお上記第1、第2の実施例と同一構成部分については、同一符号を付してその説明を省略する。

【0040】図に示すように、電動送風機10のモータ部11を構成する負荷側ブラケット20に形成した連通孔36を、スイッチング素子28などの発熱素子の形状と相似形状にすると共に、発熱素子と負荷側ブラケット20の隙間Sを5mm以上の空間距離を設けたものである。

【0041】上記構成による作用は以下の通りである。

【0042】負荷側ブラケット20に設けた連通孔36は、スイッチング素子28などの発熱素子の形状と相似形状をしていると共に、スイッチング素子28と負荷側ブラケット20の間に5mm以上の空間距離を設けているので、負荷側ブラケット20と発熱素子の絶縁距離が確保できると共に、インペラ32が回転して発生した気流を発熱素子に当てながらスムーズに気流を通すので排気圧損が抑制でき、電動送風機の吸い込み性能を低下させることなく発熱素子の冷却効果を向上させるものである。

【0043】(実施例4)以下に本発明の第4の実施例を、図6を用いて説明する。なお上記実施例と同一構成部分については、同一符号を付してその説明を省略する。

【0044】ブラケットのインペラ32側にあたる負荷側ブラケット20を銅、アルミなどの熱伝導性の良い金属材料で形成したものである。

【0045】上記構成による作用は以下の通りである。

【0046】スイッチング素子28などの発熱素子が、

銅、又はアルミなどの熱伝導性の良い金属材料で形成された負荷側ブラケット20に固定されているので、負荷側ブラケット20自体が放熱フィンの役割をするので、発熱素子の冷却効果を更に向上させることができるものである。特に電動送風機の吸気口が絞られて風量が低下した時でも少ない冷却風で発熱素子の温度上昇を抑制することができ、信頼性の高い小型でコンパクトな電動送風機10を実現できるものである。

【0047】(実施例5)以下に本発明の第5の実施例を、図7を用いて説明する。なお従来例と同一構成部分については、同一符号を付してその説明を省略する。

【0048】ブラケットのインペラ32側にあたる負荷側ブラケット20をマグネシウム合金で形成したものである。

【0049】上記構成による作用は以下の通りである。

【0050】負荷側ブラケット20を、銅、又はアルミなどの金属材料で形成すると、比重が大きいために負荷側ブラケット20の重量が重くなり、電動送風機の軽量化を妨げる欠点となっていた。しかし、マグネシウム合金は他の実用金属中最も比重が小さい（アルミの2／3）ので負荷側ブラケット20を軽量化することができる。また、マグネシウム合金はリサイクル性、放熱性、加工性に優れた材料であることが知られている。

【0051】特に、近年ではマグネシウム合金の成形（チクソモールディング法）の成形技術が向上してきており、家電製品など幅広い分野で採用されてきている。

【0052】(実施例6)以下に本発明の第6の実施例を、図8を用いて説明する。なお従来例と同一構成部分については、同一符号を付してその説明を省略する。

【0053】負荷側ブラケット20、反負荷側ブラケット21のどちらか一方、または両方を金属材料で形成すると共に、その表面に多数個の凹凸部37を設けたものである。

【0054】上記構成による作用は以下の通りである。

【0055】負荷側ブラケット20、反負荷側ブラケット21の表面に多数個の凹凸部37を設けることにより、表面積が大きくなるので放熱性が向上し、発熱素子の冷却効果を更に高めることができる。

【0056】(実施例7)以下に本発明の第7の実施例を、図9を用いて説明する。なお従来例と同一構成部分については、同一符号を付してその説明を省略する。

【0057】図9に示すように、電気掃除機1の掃除機本体2は、前部に塵埃を捕集する集塵室8を、後部に電動送風機10と、電力供給用のコードリール38を内蔵している。

【0058】また、掃除機本体2の前部には、前記集塵室8と連通して、ホース3、延長管6、吸込具7が接続されている。

【0059】上記構成による作用は以下の通りである。

【0060】コードリール38から電力を供給されて電

動送風機10が運転すると、吸込具7から塵埃を含んだ空気が吸い込まれ、延長管6、ホース3を通った後に掃除機本体2内の集塵室8で塵埃が捕獲され、その後の気流は電動送風機10内に導かれるものである。

【0061】上記実施例からも明らかなように、本発明の電動送風機10は小型で、信頼性が高く、従って小型で使用性の高い電気掃除機1を実現できる。

【0062】(実施例8)以下に本発明の第8の実施例を、図10を用いて説明する。なお従来例と同一構成部分については、同一符号を付してその説明を省略する。

【0063】図10に示すように、電気掃除機1の掃除機本体2は、前部に塵埃を捕集する集塵室8を、後部に電動送風機10と、電力供給用の充電可能な電池39を内蔵している。

【0064】また、掃除機本体2の前部には、前記集塵室8と連通して、ホース3、延長管6、吸込具7が接続されている。

【0065】上記構成による作用は以下の通りである。

【0066】電池39から電力を供給されて電動送風機10が運転すると、吸込具7から塵埃を含んだ空気が吸い込まれ、延長管6、ホース3を通った後に掃除機本体2内の集塵室8で塵埃が捕獲され、その後の気流は電動送風機10内に導かれるものである。

【0067】上記実施例からも明らかなように、本発明の電動送風機10は小型で、信頼性が高く、かつ電池39で運転しているのでコードが不要であり、更に小型で使用性の高い電気掃除機1を実現できる。

【0068】

【発明の効果】本発明の請求項1記載の発明によれば、モータ部と、前記モータ部の電力制御を行なうインバータ回路部と、モータ部の筐体を構成するブラケットと、前記モータ部により回転するインペラを備え、前記インバータ回路部を前記インペラの外周から排出される空気の流路に配設するとともに、前記ブラケットのインペラ側に形成したモータの軸方向に略平行なる面に、前記インバータ回路部の回路基板に実装された発熱素子を固定したものであり、回路部の発熱素子を効率よく冷却し、かつ回路部を小型化することができるので、電動送風機と回路部を省スペースで構成でき、小型の電動送風機を提供することができるものである。

【0069】本発明の請求項2記載の発明によれば、上記請求項1記載の発明において、インバータ回路部の回路基板に実装された発熱素子と対向するブラケットのインペラ側に発熱素子と相似状なる連通孔を設けたもので、インペラで発生させた気流を効率よく発熱素子に当たられるので、冷却効果を向上させた小型の電動送風機を提供することができる。

【0070】本発明の請求項3記載の発明によれば、上記請求項2記載の発明において、連通孔と発熱素子が形成する隙間が5mm以上の距離を保つもので、ブラッケ

トのインペラ側との絶縁距離と、冷却風の通路を確保したもので、信頼性の高い小型の電動送風機を提供することができる。

【0071】本発明の請求項4記載の発明によれば、上記請求項1～3のいずれか1項に記載の発明において、ブラケットのインペラ側を金属で形成したもので、ブラケットのインペラ側を放熱フィンとすることにより、発熱素子の冷却効果を向上できる。

【0072】本発明の請求項5記載の発明によれば、上記請求項4記載の発明において、ブラケットのインペラ側を銅、またはアルミで形成したもので、更に発熱素子の冷却効果を向上できるものである。

【0073】本発明の請求項6記載の発明によれば、上記請求項4記載の発明において、ブラケットのインペラ側をマグネシウム合金で形成したもので、発熱素子の冷却効果を向上できると共に、ブラケットのインペラ側の軽量化が図れ、小型で軽量な電動送風機を提供することができる。

【0074】本発明の請求項7記載の発明によれば、上記請求項1～6のいずれか1項に記載の発明において、ブラケットのインペラ側に複数の凹凸を設けたもので、ブラケットのインペラ側の表面積を大きくすることにより、発熱素子の冷却効果を更に向上できる。

【0075】本発明の請求項8記載の発明によれば、請求項1～7のいずれか1項に記載の発明において、モータ部の筐体を負荷側ブラケットと反負荷側ブラケットで構成し、前記反負荷側ブラケットに複数の凹凸を設けたもので、反負荷側ブラケットの表面積を大きくすることにより、発熱素子の冷却効果を更に向上できる。

【0076】本発明の請求項9記載の発明によれば、塵埃を捕集する集塵室と、請求項1～8のいずれか1項に記載の電動送風機とを備えた電気掃除機で、小型で使用性が向上した交流式の電気掃除機を提供することができる。

【0077】本発明の請求項10記載の発明によれば、上記請求項9記載の発明において、電動送風機を直流電源で駆動する電気掃除機で、小型でコードレスの更に使用性が向上した電気掃除機を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例を示す電動送風機の断面図

【図2】図1のA-A断面図

【図3】本発明の第2の実施例を示す図1のA-A断面図

【図4】本発明の第3の実施例を示す図1のA-A断面図

【図5】同電動送風機の断面図

【図6】本発明の第4の実施例を示す電動送風機の断面図

【図7】本発明の第5の実施例を示す電動送風機の断面図

【図8】本発明の第6の実施例を示す電動送風機の断面図

【図9】本発明の第7の実施例を示す電気掃除機の断面図

【図10】本発明の第8の実施例を示す電気掃除機の断面図

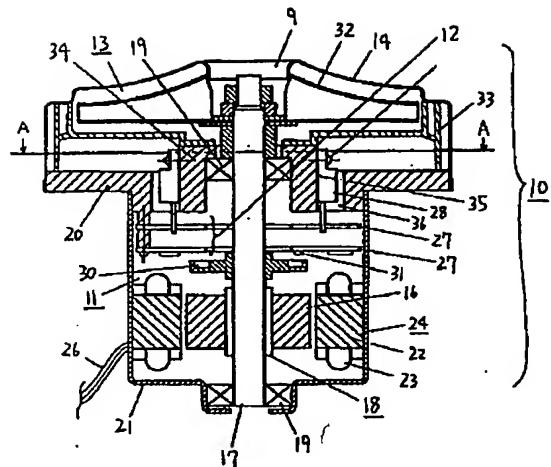
【図11】従来の電気掃除機の断面図

【図12】同電気掃除機に内蔵された電動送風機の断面図

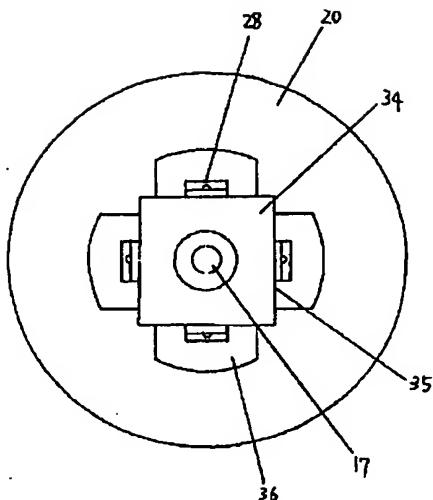
【符号の説明】

- 1 電気掃除機
- 2 掃除機本体
- 3 ホース
- 6 延長管
- 7 吸込具
- 8 集塵室
- 9 吸気口
- 10 電動送風機
- 11 モータ部
- 12 回路部
- 13 ファン部
- 14 ケーシング
- 16 永久磁石
- 17 シャフト
- 18 ローター
- 19 軸受け
- 20 負荷側ブラケット
- 21 反負荷側ブラケット
- 24 ステーナー
- 26 信号線
- 27 回路基板
- 28 スイッチング素子
- 30 センサーマグネット
- 31 位置検出素子
- 32 インペラ
- 33 エアガイド
- 34 ハウジング部
- 35 略平面部
- 36 連通孔
- 37 凹凸部
- 38 コードリール
- 39 電池

【図 1】

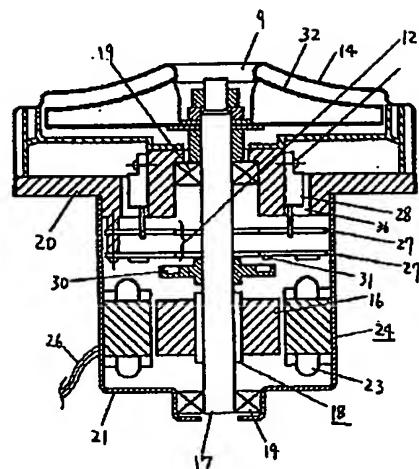


【図 2】

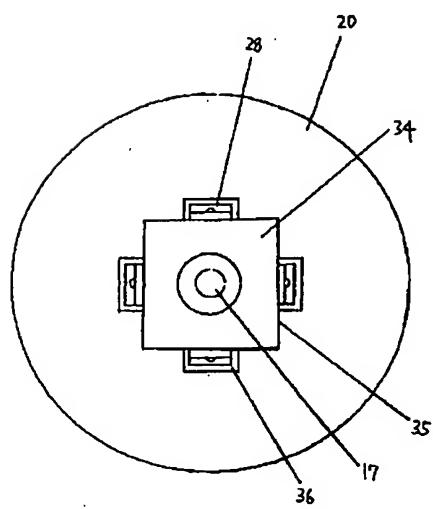


10	電動送風機	17	シャフト	24	ステーター
11	モータ部	18	ローター	27	回路基板
12	回路部	19	軸受	34	ハウジング部
13	ファン部	20	負荷側ブラケット	35	略平面部
16	永久磁石	21	反負荷側ブラケット	36	連通孔

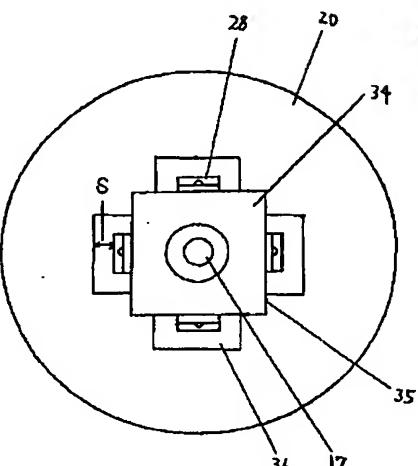
【図 6】



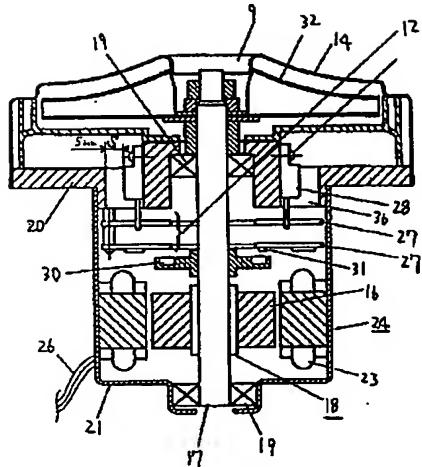
【図 3】



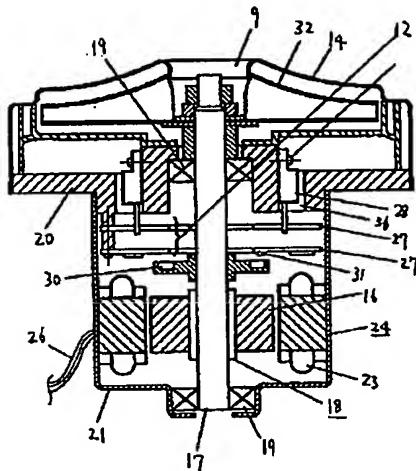
【図 4】



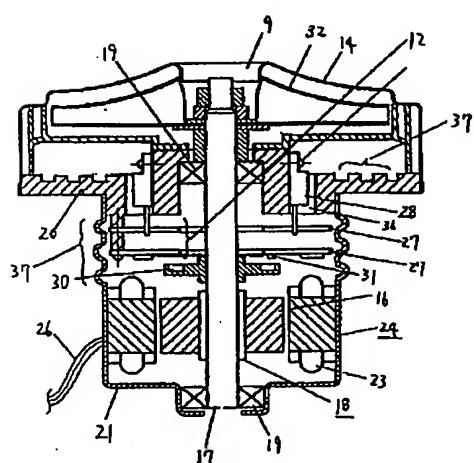
【図5】



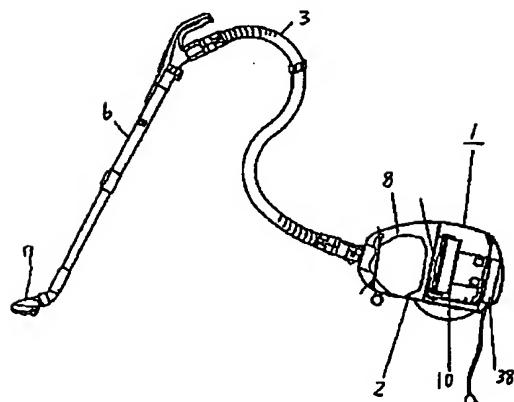
【図7】



【図8】



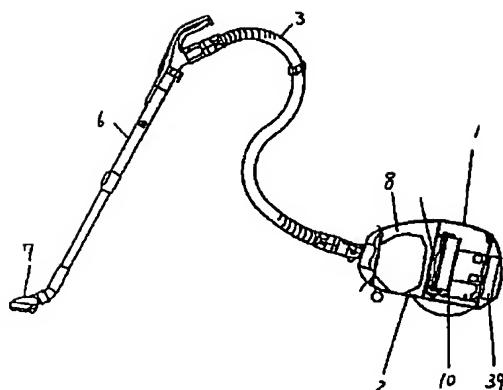
【図9】



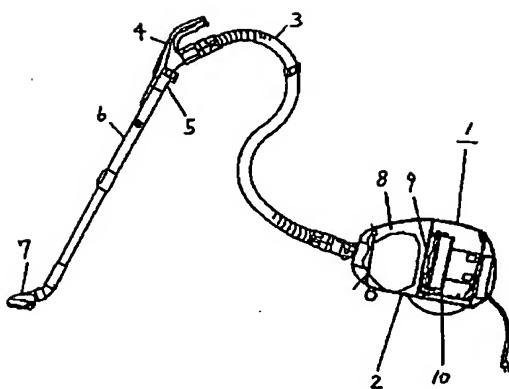
- | | |
|---------|-----------|
| 1 電気掃除機 | 8 掃塵室 |
| 2 掃除機本体 | 10 電動送風機 |
| 3 ホース | 38 コードリール |
| 6 延長管 | |
| 7 吸込具 | |

37 凹凸部

【図10】

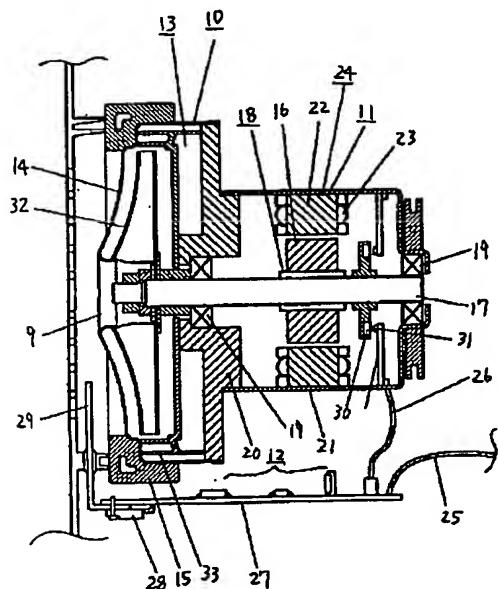


【図11】



39 電池

【図12】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 7

識別記号

F I

テーマコード (参考)

H O 2 K 5/04

H O 2 K 5/04

5 H 6 0 7

7/14

7/14

A 5 H 6 0 9

9/02

9/02

B 5 H 6 1 1

9/06

9/06

F

11/00

11/00

X

(72) 発明者 村田 吉隆 F ターム(参考) 3B006 FA01 FA02
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内 3H022 AA02 BA01 CA50 DA03 DA20
(72) 発明者 西村 剛 3H034 AA02 AA13 BB02 BB06 CC03
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内 DD12 EE03 EE12
(72) 発明者 森下 和久 3H035 AA03 AA06
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器 5H605 AA01 BB05 CC02 CC05 DD03
産業株式会社内 DD07 DD11 DD12 GG21
5H607 AA02 BB01 BB14 CC01 CC05
5H609 BB15 BB18 PP02 PP05 PP06
PP07 PP16 QQ02 QQ08 RR02
RR36 RR74
5H611 AA09 BB01 TT01 TT02 UA04
UB01